

普及活動情勢報告（令和2年1月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

トマトでの JGAP 認証への取り組み



記載内容を確認

1月9日に春野管内のトマト生産法人にて、JGAP 認証取得へ向けた支援を実施しました。

この取り組みは昨年9月から開始し、普及所は認証審査にかかる書類の作成支援や、ほ場内の整理整頓を呼びかけました。生産者からは、「GAP の考え方が当たり前の事としていかなければならない」と意欲的に取り組まれていました。

今後も普及所は、認証審査にかかる支援を継続するとともに、生産者が安心、安全な農業を営めるよう GAP の推進を図ります。

介良沖ノ丸環境保全営農組合で勉強会を開催しました

～継続して人・農地プランの課題を検討～



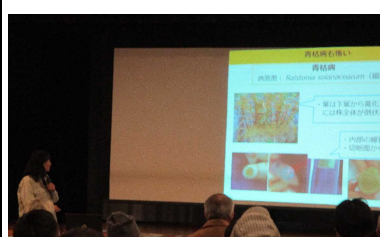
普及所からの情報提供

1月9日、介良白水公民館において、介良沖ノ丸環境保全営農組合の勉強会が16名の参加で開催されました。

勉強会では、関係機関からの情報提供を行い、普及所からは、米の栽培や地域に関連する事業等を説明しました。また、人・農地プランの実質化に向けての話し合いも行いましたが、高齢化に伴う担い手や農地の問題について「具体的な対策をしなければ、このまま、ただ話し合うだけでは解決しない」という意見も出され、今後の課題となりました。

今後普及所は、関係機関との連携を行い、担い手確保、農地の効率的な活用について地域と話し合っていきます。

露地ショウガの安定生産に向けた研修会を開催



普及員より情報提供

12月25日、JA 高知市マル朝生姜生産組合が支部合同研修会を開催し、組合員31名が参加しました。

普及所からは、土壌病害対策として低濃度エタノール土壌還元処理、ドローンによる生育診断、さらに貯蔵中ショウガ腐敗対策について報告しました。生産者の関心は高く、「将来的にはほ場全体の生育や病害発生状況を確認するため、ドローンの導入を検討したい。」など前向きな声が挙がりました。

今後普及所は、生産組合・JA 等と連携し、課題解決に向けて生産安定などの活動を支援していきます。

土佐山のユズ産地にスマート農業を導入検討



検討会の様子

1月20日、JA高知市土佐山事業所で高知市ゆずスマート農業検討協議会主催による次世代につなぐ営農体系確立支援事業の第2回検討会が開催されました。

普及所はスマート農業導入に向けた実証支援を行っており、今まで実施したドローンの薬剤防除試験や空撮による収量予測の結果、アシストスーツやリモコン式草刈機の体験学習会等を開催したことを報告しました。

今後は、三重県のスマート農業実証事業の視察やせん定講習会での最新（自律飛行）ドローンのデモ飛行を計画しています。

新高梨果実品質向上の勉強会



勉強会 風景

1月15日に高知市針木地区公民館で針木梨生産組合の勉強会が開催され、生産者ら35名が参加しました。普及所からは令和元年産新高ナシの果実品質の特徴、生理障害の発生原因と対策、高温障害果発生対策試験の結果を報告しました。また、暖冬傾向で推移していることから生育に及ぼす影響や当面の栽培の注意点についても指導しました。参加者から、耐性菌出現について、更に詳しく知りたいとの要望が出されました。

普及所は今後も産地に適した技術について、実証試験や情報提供を行いながら、生産量、所得の向上を支援していきます。

JA高知市草花部会の現地検討会開催



生産者同士で意見交換

1月10日、JA高知市草花部会が現地検討会を開催し、部会員4名が参加しました。

トルコギキョウやストックを栽培している部会員のほ場を視察し、情報交換を行いました。多かん水により根傷みがみられたほ場もありましたが、今のところ生育は概ね順調でした。

普及所からは、低濃度エタノール土壌還元処理について情報提供を行い、部会員から「トルコギキョウのフザリウム対策として、この夏実施したい。」など前向きな意見が出されました。

今後も普及所は、生産者やJAなどと連携し課題解決に向け支援をしていきます